

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

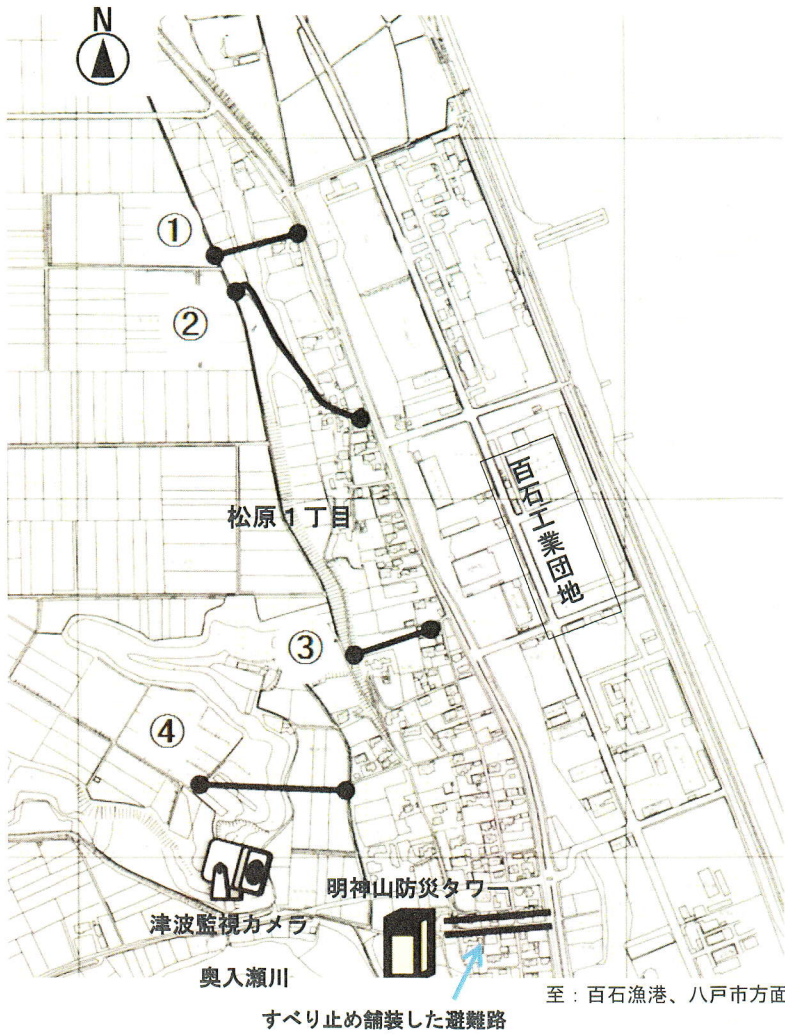
|             |  |
|-------------|--|
| 事業番号        | ◆D-20-1-1  |
| 事業名         | 避難階段等設置事業  |
| 事業費         | 49,870 千円 (39,896 千円)  |
| 事業期間        | 平成 25 年度～平成 27 年度  |
| 事業目的        | <p>明神下及び横道地区の方々は大津波が発生した場合には、当該地区西部に位置する高台へ避難することとなるが、津波到達前に、最短距離で高台へアクセスするための避難階段、スロープを設置するもの。</p> <p>おいらせ町震災復興計画<br/> P19 3-3-③ 避難所・避難路の検証と避難所運営の充実<br/> おいらせ町津波避難計画<br/> P29 第7章津波防災対策 2 松原地区避難階段等の整備</p>   |
| 事業地区        | 明神下地区  |
| 事業結果        | <p>平成 25 年度 設計<br/> 平成 26 年度～27 年度 工事<br/> 工事概要：歩道舗装工、階段工（手すり、自発光キャップ）、防護柵、排水工等<br/> 松原第一避難階段 施工延長 94.67m、松原第二避難階段 施工延長 208.44m<br/> 松原第三階段 施工延長 140.2m、松原第四避難階段 施工延長 326.66m</p>  |
| 事業の実績に関する評価 | <p>明神下と横道地区の住民及び百石工業団地の従業員等合わせて 1,000 名以上の方々が迅速に且つ最短で西側の高台に避難できるよう 4 箇所の避難階段等を設置した。指名競争入札により契約相手方を選定しており、事業費は適正なものとなっている。</p> <p>建設前後には明神下地区、横道地区住民及び百石工業団地内事業所に対して説明会を行い、事業内容を周知し理解を得た。平成 27 年 12 月の竣工後は広報誌での避難階段の周知と、当該地区への防災訓練を呼びかけた。避難階段は夜間の避難にも対応できるよう、手すりに LED ソーラー照明を設置しており、町職員による夜間の避難路検証を行い、当該地区において検証結果を説明した。</p> <p>さらに平成 28 年 5 月には、ジャバス青森プラントによる約 100 名の従業員による避難階段を使用した避難訓練を行い、平成 28 年 10 月には沿岸南部を中心とした町総合防災訓練を実施し、明神下及び横道地区の方々による松原地区避難階段を利用した避難訓練を行い、避難階段の周知及び有効活用に努めた。</p> |
| 事業担当部局      | <p>まちづくり防災課 電話番号 0178-56-2111 (代表)</p>   |

添付資料 別紙 4 松原地区避難階段 概要

## 松原地区避難階段 位置図

おいらせ町 太平洋沿岸南部（明神川河口付近）

松原地区 4箇所①～④に避難階段を設置



①



▼②舗装されたスロープ状の避難路



④



①③④高台に迅速に避難できる階段です。夜間はソーラー電池により、手すりのライトが点滅します。



（手すりのライトは登り口から降り口まで等間隔に設置されています）

③

